

# あなたの備えは十分ですか

突然起こる自然災害に備えて

豊かで美しい自然がもたらす恵みは、私たちが生きていくうえではなくてはならないものです。

一方で、ときに自然は大雨や台風、地震、津波などを起こし、猛威をふるって私たちを襲います。

このような自然災害は、人間の力では防ぐことができません。しかし、1人ひとりが日ごろからの備えにより、被害を最小限に抑えることはできます。

災害から身を守るにはどうしたらよいか――。皆さんも、今一度考えてみましょう。

## 梅雨時期から秋にかけては 大雨や台風が発生

梅雨時期から秋にかけては、大雨や台風による洪水や土砂災害、高潮などの風水害が発生しやすくなります。

大雨については、積乱雲が発達してごく狭い範囲で強い雨が降る局地的大雨や、前線や低気圧などの影響で激しい雨が数時間にわたって降り続く集中豪雨が全国で発

生。別表1は、気象庁が全国の約1、300カ所に設置している地域気象観測システム（通称「アメダス」）で観測した、1時間降水量50mmと80mm以上の年間発生回数の平均データです。昔と比べて発生回数が増加していることがわかります。

このような中、市内では、平成18年7月の豪雨により、河浦地域を中心に家屋の損壊7棟、床上浸水48棟、床下浸

## 雨量や降り方など

| 雨量（mm/時間） | 表 現    | 雨の降り方            |
|-----------|--------|------------------|
| 10以上 20未満 | やや強い   | ザーザーと降る          |
| 20以上 30未満 | 強 い    | どしゃ降り            |
| 30以上 50未満 | 激しい    | バケツをひっくり返したように降る |
| 50以上 80未満 | 非常に激しい | 滝のように降る          |
| 80以上      | 猛烈な    | 息苦しくなるような圧迫感がある  |

## アメダスでみた大雨発生回数の長期変化 別表1

| 年          | 年間発生回数(平均) |        |
|------------|------------|--------|
|            | 1 時間降水量    |        |
|            | 50mm以上     | 80mm以上 |
| 1976～1986年 | 160        | 9.9    |
| 1987～1997年 | 177        | 11.5   |
| 1998～2009年 | 233        | 18.0   |

気候変動監視レポート2009（気象庁）から抜粋



水172棟のほか、農作物への被害や冠水、土砂崩れによる道路の通行止めなどの被害が発生（上写真参照）。

一方、台風においても、平成3年の台風19号のほか、同11年に発生した台風18号では牛深で最大瞬間風速66・2mを観測するなど、各地で甚大な被害をもたらしています。

## 地震・津波にも注意が必要

日本は、世界でも有数の地震多発国です。3月11日に三陸沖を震源に発生した東日本大震災では、観測史上最大のマグニチュード9・0を観測。東日本各地で強い揺れが生じるとともに、太平洋沿岸を中心に高い津波が押し寄せ、未曾有の大災害となりました。天草地域でも、有明・八代海、天草灘沿岸に津波警報が発表され、本渡港では80cmの津波を観測しました。

このような中、本市の周辺には、阿蘇外輪山の西側斜面から八代海南部に至る「布田川・日奈久断層帯」、長崎県の島原半島とその周辺の海域

## 天草地域周辺の断層位置図



災害はいつか必ず起こる  
という意識を持つて

このように、天草市においても、最近の気象傾向や過去の大雨・台風被害、周囲に大きな地震や津波を引き起こす断層があることから、今後、突然の災害に見舞われる可能性が十分にあります。

災害はいつか必ず起こるという意識を常に持って、あらゆるケースを想定した防災への取り組みが必要であるといえます。